



2025年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月13日

東

上場会社名 株式会社テイクアンドギヴ・ニーズ 上場取引所
コード番号 4331 URL <https://www.tgn.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩瀬 賢治
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 若林 達二 TEL 03-3471-6806
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第1四半期	11,100	△1.1	12	△98.0	△125	—	△43	—
2025年3月期第1四半期	11,228	1.3	598	△36.9	478	△42.1	605	19.6

(注) 包括利益 2025年12月期第1四半期 △50百万円(—%) 2025年3月期第1四半期 605百万円(18.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第1四半期	△2.99	—
2025年3月期第1四半期	41.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第1四半期	51,780	17,724	34.1
2025年3月期	53,241	18,211	34.1

(参考) 自己資本 2025年12月期第1四半期 17,657百万円 2025年3月期 18,138百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	10.00	—	30.00	40.00
2025年12月期	—	—	—	—	—
2025年12月期(予想)	—	—	—	31.00	31.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2025年12月期は、決算期変更を行い2025年4月1日から2025年12月31日までの9ヶ月間となり
配当の基準日も変更となります。

3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年4月1日～2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,450	—	1,850	—	1,450	—	500	—	34.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2025年12月期は、決算期変更を行い2025年4月1日から2025年12月31日までの9ヶ月間となります。
これに伴い、2025年12月期の対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期 1 Q	14,619,330株	2025年 3 月期	14,619,330株
② 期末自己株式数	2025年12月期 1 Q	25,247株	2025年 3 月期	25,217株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年12月期 1 Q	14,594,101株	2025年 3 月期 1 Q	14,586,390株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についての注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足資料の入手について）

決算補足資料はTDnetで同時公開しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2025年4月～6月）における当社グループの業績は、主力である国内ウェディング事業において、引き続き婚礼単価は上昇したものの、昨年度実施した直営4店舗の戦略的再編と、昨年度同時期に実行した広告手法の見直しに伴う出稿量の抑制による受注量減少の影響が当第1四半期に顕在化したこと等により、売上高は前年同期と比べほぼ横ばいの111億円（前年同期比1.1%減）となりました。営業利益は、前第1四半期の広告宣伝費抑制の反動や全社員を対象とした社員エンゲージメント（研修旅行）等を含む福利厚生費等、販売費及び一般管理費が膨らみ、前年同期と比べ大幅減の12百万円となりました。経常損益は、借入金等の支払利息1億39百万円の支払い等があり、1億円25百万円の損失となりました。したがって、親会社株主に帰属する四半期純損失は43百万円となりました。

当第1四半期の業績結果は以下の通りです。

	2025年3月期 第1四半期	2025年12月期 第1四半期	増減	増減率	(参考) 2025年12月期 通期予想
売上高	11,228	11,100	△127	△1.1%	35,450
営業利益	598	12	△586	△98.0%	1,850
経常利益	478	△125	△603	-	1,450
親会社株主に帰属 する四半期（当期）純利益	605	△43	△648	-	500

国内ウェディング事業

(ウェディング)

当第1四半期における直営店婚礼（TRUNK含む）の取扱件数は、昨年度、市場環境の変化に対応すべく、経営資源の最適活用を目的に直営4店舗6バンケットの統廃合を実施したことや、広告投資効率の向上を目的とした出稿量の合理化が想定を下回る効果に留まったこと等により、前年同期比82組減の2,194組となりました。キャンペーンなどにより高価格帯の料理・ドリンク、装花・テーブルコーディネートや、その他アフターブーケなどの当社の付加価値の高い商品群の販売促進策が奏功し、婚礼単価は前年同期比118千円増の4,082千円となったこと、また他社運営の施設、シティホテル等におけるウェディング部門の業務受託（コンサルティング）が増加し、取扱件数が前年同期比62件増の654件となるなど、好調に推移しましたものの、国内ウェディング事業の売上高は前年同期と比べ2億31百万円減の106億41百万円にとどまりました。

営業利益については、前第1四半期の広告宣伝費抑制の反動で、前年同期と比べ53.0%減少の4億91百万円となりました。

当社は、ここ数年の広告効果が漸減していること等から、昨年度第1四半期より広告投資効率の向上を目的に、広告手法を見直し、出稿量の合理化を図りました。しかしながら期待した効果を得られず、昨年度は問い合わせ及び受注数の低迷を招きました。この影響が当第1四半期より顕在化しております。なお、当社は受注減少を受け、早期に対応すべく、前第2四半期より広告出稿を再強化しております。

なお、当社ではこれまで培ってきたウェディングビジネスにおけるノウハウを活かし、かつ付加価値の高いコンサルティングビジネスの獲得に注力しておりますが、当第1四半期においては、6月に三菱地所ホテルズ&リゾーツ株式会社と婚礼コンサルティング契約を締結しました。本年10月より仙台ロイヤルパークホテルの婚礼部門の業務提携を開始いたします。本格的な当社の業績への貢献は来期以降となる見通しです。

(ホテル)

4月の訪日外国人客数が、過去最高であった2025年1月の378万人を上回り単月過去最高の390万人を突破するなど、当第1四半期も引き続き好調なインバウンド需要に支えられ、当社グループの運営するホテルTRUNK(HOTEL)の平均客室単価(ADR)は97,952円(前年同期比15,134円増)、稼働率は91.0%(前年同期比3.8pt減)となりました。

一方、売上高については、TRUNK(HOTEL) YOYOGI PARK(東京都渋谷区富ヶ谷)において実施したグレードアップ工事、また社員の働きやすい環境確保のためのバックスペース工事などの影響で4月から6月末までの宿泊サービスを一時休止したために前年同期比11.0%減の14億26百万円となりました。

以上の結果、国内ウェディング事業の売上高は106億41百万円(前年同期比2.1%減)、営業利益は4億91百万円(前年同期比53.0%減)となりました。

(単位:百万円)

	2025年3月期 第1四半期	2025年12月期 第1四半期	増減	増減率
売上高	11,228	11,100	△127	△1.1%
国内ウェディング事業	10,872	10,641	△231	△2.1%
TRUNK(HOTEL)	1,602	1,426	△175	△11.0%
その他	355	458	+103	+29.2%
売上総利益	7,481	7,504	+22	+0.3%
販管費及び一般管理費	6,882	7,492	+609	+8.9%
営業利益	598	12	△586	△98.0%
国内ウェディング事業	1,045	491	△554	△53.0%
その他	96	122	+26	+26.9%
全社費用他	△543	△601	△57	-

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は517億80百万円となり、前連結会計年度末と比較し14億61百万円の減少となりました。現金及び預金が19億円減少したことが主な要因です。当連結会計期間末における負債は340億55百万円となり、前連結会計年度末と比較し9億74百万円の減少となりました。これは、負債面では、長期借入金および1年以内返済予定の長期借入金が15億48百万円減少した一方で、短期借入金が17億円増加したこと、また、未払法人税や未払消費税などの流動負債の減少が主な要因です。当連結会計期間末の純資産においては、親会社株主に帰属する四半期純損失43百万円を計上したほか、配当金の支払い等により4億37百万円を計上した結果、純資産は前期末比で4億86百万円減少し、純資産合計は177億24百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年度通期の業績予想につきましては、2025年5月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,074	7,169
売掛金	562	473
営業貸付金	3,410	3,420
商品	182	175
貯蔵品	65	67
前払費用	665	767
その他	627	527
貸倒引当金	△72	△74
流動資産合計	14,515	12,527
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	32,877	33,175
減価償却累計額及び減損損失累計額	△21,490	△21,715
建物及び構築物（純額）	11,386	11,460
機械装置及び運搬具	132	132
減価償却累計額及び減損損失累計額	△113	△114
機械装置及び運搬具（純額）	19	17
工具、器具及び備品	7,625	7,682
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,750	△6,855
工具、器具及び備品（純額）	874	827
土地	13,030	13,030
リース資産	5,267	5,273
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,878	△2,946
リース資産（純額）	2,388	2,326
建設仮勘定	730	1,158
有形固定資産合計	28,429	28,822
無形固定資産	351	346
投資その他の資産		
投資有価証券	15	15
長期貸付金	65	65
長期前払費用	72	102
繰延税金資産	5,056	5,056
敷金及び保証金	4,799	4,770
その他	213	350
貸倒引当金	△278	△278
投資その他の資産合計	9,944	10,083
固定資産合計	38,725	39,252
資産合計	53,241	51,780

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,949	972
短期借入金	880	2,580
1年内返済予定の長期借入金	5,409	5,043
未払金	1,557	1,489
未払法人税等	233	45
賞与引当金	472	710
株式報酬引当金	5	7
契約負債	1,845	1,781
その他	1,696	1,395
流動負債合計	14,049	14,025
固定負債		
長期借入金	14,310	13,128
長期リース債務	3,105	3,040
資産除去債務	3,044	3,050
その他	519	810
固定負債合計	20,980	20,029
負債合計	35,029	34,055
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	11,074	11,074
利益剰余金	7,013	6,532
自己株式	△49	△49
株主資本合計	18,138	17,657
新株予約権	-	1
非支配株主持分	72	65
純資産合計	18,211	17,724
負債純資産合計	53,241	51,780

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	11,228	11,100
売上原価	3,746	3,596
売上総利益	7,481	7,504
販売費及び一般管理費	6,882	7,492
営業利益	598	12
営業外収益		
受取利息	0	0
その他	2	1
営業外収益合計	2	1
営業外費用		
支払利息	123	139
その他	0	0
営業外費用合計	123	139
経常利益又は経常損失(△)	478	△125
特別利益		
固定資産売却益	469	-
特別利益合計	469	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	947	△125
法人税等	342	△74
四半期純利益又は四半期純損失(△)	605	△50
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	-	△6
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	605	△43

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	605	△50
四半期包括利益	605	△50
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	605	△43
非支配株主に係る四半期包括利益	-	△6

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用し、繰延税金資産の回収可能性を検討のうえ計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しています。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント	その他 (百万円)(注)	合計 (百万円)
	国内ウェディング 事業 (百万円)		
売上高			
顧客との契約から生じる収益	10,867	255	11,122
その他の収益	5	99	105
a. 外部顧客に対する売上高	10,872	355	11,228
b. セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	181	182
計	10,873	536	11,410
セグメント利益	1,045	96	1,142

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金融・クレジット事業、旅行事業を含んでおります。

② 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額
報告セグメント計(百万円)	1,045
「その他」の区分の利益(百万円)	96
セグメント間取引消去(百万円)	1
全社費用(百万円)(注)	△544
四半期連結損益計算書の営業利益(百万円)	598

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

③ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

2. 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント	その他 (百万円)(注)	合計 (百万円)
	国内ウェディング 事業 (百万円)		
売上高			
顧客との契約から生じる収益	10,639	341	10,981
その他の収益	2	116	119
a. 外部顧客に対する売上高	10,641	458	11,100
b. セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	217	218
計	10,643	676	11,319
セグメント利益	491	122	613

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金融・クレジット事業、旅行事業を含んでおります。

② 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額
報告セグメント計(百万円)	491
「その他」の区分の利益(百万円)	122
セグメント間取引消去(百万円)	0
全社費用(百万円)(注)	△602
四半期連結損益計算書の営業利益(百万円)	12

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

③ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	485百万円	446百万円